

令和5年度 仙台高等専門学校専攻科

学 生 募 集 要 項

出願書類添付

情報電子システム工学専攻 生産システムデザイン工学専攻

区 分	出 願 期 間	検 査 日	合格発表日
推 薦 選 抜	令和4年 5月 6日(金) ～5月12日(木)	令和4年 5月19日(木)	令和4年 5月27日(金)
社会人特別選抜			
学 力 選 抜	令和4年 5月27日(金) ～6月2日(木)	令和4年 6月10日(金)	令和4年 6月23日(木)

令和4年2月



独立行政法人 国立高等専門学校機構

仙台高等専門学校

National Institute of Technology, Sendai College

問 合 せ 先

広瀬キャンパス

〒989-3128

仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

TEL : 022-391-5542 (学務課入試係)

FAX : 022-391-6146

名取キャンパス

〒981-1239

名取市愛島塩手字野田山48番地

TEL : 022-381-0254 (学生課教務係)

FAX : 022-381-0267

E-mail nyushi@sendai-nct.ac.jp ホームページ <https://www.sendai-nct.ac.jp/>

目 次

学生募集要項

I	アドミッションポリシー	1
II	募集人員及び選抜方法	1
III	選抜日程	1
IV	本校以外の教育機関出身者等に 対する留意事項	1
V	推薦による入学者の選抜	2
	1. 出願資格	2
	2. 出願期間及び提出先	2
	3. 出願書類等及び出願手続	3
	4. 選抜の方法	4
	5. 合格者の発表	4
	6. 入学確約書の提出	4
VI	社会人特別選抜	4
	1. 出願資格	4
	2. 出願期間及び提出先	5
	3. 出願書類等及び出願手続	5
	4. 選抜の方法	6
	5. 合格者の発表	6
	6. 入学意思確認書の提出	7
VII	学力検査による入学者の選抜	7
	1. 出願資格	7
	2. 出願期間及び提出先	7
	3. 出願書類等及び出願手続	7
	4. 選抜の方法	9
	5. 合格者の発表	10
	6. 入学意思確認書の提出	10
VIII	入学手続及び諸経費	10
IX	長期履修学生制度	11
X	個人情報に関する取扱いについて	11
XI	入試情報の開示について	11
XII	その他	12

入学案内

《 情報電子システム工学専攻 》

1. 目的	13
2. 情報電子システム工学専攻の 修業年限及び修了要件	13
3. 情報電子システム工学専攻の特色	13
4. 学位（学士）の取得方法	14
5. 情報電子システム工学プログラム について	14
6. 修了後の進路	18

《 生産システムデザイン工学専攻 》

1. 目的	19
2. 生産システムデザイン工学専攻の 修業年限及び修了要件	19
3. 生産システムデザイン工学専攻の 特色	19
4. 学位（学士）の取得方法	20
5. 「生産システムデザイン工学」 教育プログラムについて	20
6. 修了後の進路	23

《 共通事項 》

1. 専攻科の教育目標	25
2. 専攻科のディプロマポリシー	25
3. 専攻科カリキュラムポリシー	25

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）
から振り込む場合の注意点

添 付 書 類

- ① 入学願書
- ② 写真票・受験票
- ③ 検定料振込済証明書貼付票
- ④ 調査書
- ⑤ 推薦書
- ⑥ 入学志願者自己調書
- ⑦ 受験承諾書（社会人特別選抜用）
- ⑧ 宛名票
- ⑨ 検定料振込依頼書

令和5年度 仙台高等専門学校専攻科 学 生 募 集 要 項

I アドミッションポリシー

本専攻科の入学者に期待される人間像及び入学者選抜の基本方針は、次のとおりです。

1. 入学者に期待される人間像
 - 1) 自ら学ぶための基礎的な学力と資質を有する人
 - 2) コミュニケーションの基本を身に付けた人
 - 3) 社会の一員として、社会に貢献する気概を有する人
 - 4) 自発的に問題を発見し、解決する意欲を有する人
 - 5) 豊かな人間性を有する人
2. 入学者選抜の基本方針
 - 1) 科学・工学の基礎的な学力を評価します。
 - 2) 論理的に自分の考えを相手に伝える能力を評価の対象とします。
 - 3) さらに推薦選抜においては、社会の一員として、さまざまな問題を自発的に発見・解決し、人類・社会に貢献する意志を重視します。

II 募集人員及び選抜方法

専 攻 名	入学 定員	募集人員・選抜方法		
		推薦選抜	学力選抜	社会人特別選抜
情報電子システム工学専攻	30名	15名	15名	若干名
生産システムデザイン工学専攻	40名	20名	20名	若干名

※入学定員には、外国人留学生特別選抜により入学する若干名が含まれます。

III 選抜日程

区 分	出 願 期 間	検 査 日	合格発表日
推 薦 選 抜	5月 6日 (金) ～ 12日 (木)	5月19日 (木)	5月27日 (金)
社 会 人 特 別 選 抜	5月 6日 (金) ～ 12日 (木)	5月19日 (木)	5月27日 (金)
学 力 選 抜	5月27日 (金) ～ 6月2日 (木)	6月10日 (金)	6月23日 (木)

IV 本校以外の教育機関出身者等に対する留意事項

本校以外の教育機関出身者（本校でキャンパスが異なる場合も含む）又は本校出身者で令和5年3月に本校の本科を卒業見込みの者と異なる教育課程で教育を受けた者（推薦による選抜、社会人特別選抜、学力検査による選抜のいずれも該当）は、以下の理由により、出身校等で取得した授業科目について確認する必要がありますので、遅くとも入学願書受付開始日3週間前までに、本校学務課学務係（情報電子システム工学専攻 TEL：022-391-5537）又は学生課教務係（生産システムデザイン工学専攻 TEL：022-381-0265）にお問い合わせください。

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定（特例認定）」の適用を受けられるかを確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の学位申請になる場合があります。なお、学位（学士）の取得方法については14ページ及び20ページを参照してください。

また、本校の JABEE 教育プログラムの修了を希望する者に対して、プログラムの修了要件を満たすことが可能か確認する必要があります。なお、プログラムの詳細は 13 ページからの入学案内を参照してください。

V 推薦による入学者の選抜

1. 出願資格

令和 5 年 3 月に高等専門学校を卒業見込みの者で、学校長が成績及び人物共に優れていると認めて推薦するもの（成績については、高等専門学校 3 年次及び 4 年次における成績が、別に示す評価ポイントに換算して 2.50 以上であることを目安とする。）

【評価ポイントの計算方法】

- ・下記の表によりポイントを算出し、計算式に当てはめて計算すること。

	評価		ポイント	評価	ポイント
	点数	4 段階		3 段階	
合格	100～90 点	S	4	A	3.5
	89～80 点	A	3		
	79～70 点	B	2	B	2
	69～60 点	C	1	C	1

(計算式)

$$\frac{(\text{ポイント4の単位数} \times 4) + (\text{ポイント3の単位数} \times 3) + (\text{ポイント2の単位数} \times 2) + (\text{ポイント1の単位数})}{\text{全対象科目の単位数}}$$

- ・ 3 年次及び 4 年次の授業科目のうち、点数又は段階評価による成績が付いた科目を対象とする。他高専、大学等との単位互換科目や資格による認定科目、可否のみで評価の付かない科目は対象外とする。
- ・ 段階評価を点数評価に置き換えることができる場合は、点数評価によりポイントを求める。3 段階評価で点数評価に置き換えられない場合は、上記の表によりポイントを求める。
- ・ 評価ポイントに端数が出る場合は、小数点第 3 位で切り捨てとする。

2. 出願期間及び提出先

- (1) 受付期間 令和 4 年 5 月 6 日（金）から令和 4 年 5 月 12 日（木）
- (2) 受付時間 9 時から 16 時まで
- (3) 提出先 **《 情報電子システム工学専攻 》**
 仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係
 〒 989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目 16 番 1 号

《 生産システムデザイン工学専攻 》
 仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
 〒 981-1239 名取市愛島塩手字野田山 48 番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

- (1) 出願手続は、次の書類等を整え、在籍高等専門学校を経て入試係又は教務係へ提出してください。

③～⑤及び⑧の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出 願 書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
② 写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)
③ 推 薦 書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成したもの。 ただし、本校の準学士課程に在籍する者が出願する場合は、所属するコースの長が作成したものを提出してください。
④ 入学志願者 自 己 調 書	本校所定の様式を使用し、出願者自身が作成したもの。
⑤ 調 査 書	本校所定の様式を使用し、在籍学校長が作成し厳封したもの。 なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も併せて添付してください。情報電子システム工学専攻の志願者は、学年席次が記載されている必要があります。提出が難しい場合は、本校学務課入試係に申し出てください。 (※調査書には、成績証明書を添付する必要があります。)
⑥ TOEIC ス コ ア	生産システムデザイン工学専攻に出願する者は、TOEIC (TOEIC-IP含む) の公式認定証又はスコアレポートの原本(コピーは不可)を提出してください。(ただし、オンライン版の試験を利用したTOEIC-IPのスコアは出願書類として利用できません。) 原本は確認後、返却します。
⑦ 検 定 料	16,500円 本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。ATMは証明書が発行されないため使用できません。 ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、26ページの「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」を参照してください。 また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書〔電信扱い〕)(お客さま控)」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。 なお、納付済の検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。ただし、次の場合は検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。 ・ 検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・ 検定料を誤って二重に納付した場合
⑧ 宛 名 票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑨ 返信用封筒 (受験票送付用)	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、344円分(定形・速達)の切手を貼付してください。ただし、出願時に願書を持参し、後日受験票を直接受け取る場合は不要です。
⑩ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し(又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの)を提出してください。

(2) 出願及び受験上の注意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「**簡易書留郵便**」とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と朱書きし、**5月12日(木) 16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 受験票は、入学願書の受付後発送します。5月17日(火)まで受験票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受験票を携行してください。
- ③ 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ④ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。
- ⑤ 障害等を理由に入学者選抜における合理的配慮の提供を希望する場合は、早めに本校学務課入試係までご相談ください。合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の1ヵ月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。なお、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は合否判定には一切影響ありません。

4. 選抜の方法

推薦による入学者選抜は、在籍学校長から提出された推薦書、調査書、入学志願者自己調書及び面接の結果を総合判定して行います。

なお、生産システムデザイン工学専攻では、上記に加え、英語能力(TOE I Cスコアによる)も評価します。

- (1) 検査日 令和4年5月19日(木) 10時から
- (2) 受験地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

5. 合格者の発表

令和4年5月27日(金) 15時(予定)に合格者の受験番号を受験したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ(<https://www.sendai-nct.ac.jp/>)に掲載します。

電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学確約書の提出

推薦選抜に合格した者は、入学意思の確認のため令和4年6月2日(木)までに「入学確約書」を提出してください。入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

VI 社会人特別選抜

1. 出願資格

入学までに有職経験(※)がおおむね1年以上ある者で、次の(1)から(7)のいずれかに該当するもの

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付

- けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 (7) その他本校の専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、4月21日(木)までに入試係又は教務係へ電話等により照会してください。

※ 有職経験には、常勤・非常勤の別はありません。ただし、主たる身分が学生の場合、アルバイト等は有職経験には含みません。なお、有職経験のない者の出願は受け付けません。

2. 出願期間及び提出先

(1) 受付期間 令和4年5月6日(金)から令和4年5月12日(木)

(2) 受付時間 9時から16時まで

(3) 提出先 **《 情報電子システム工学専攻 》**

仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係
 〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

《 生産システムデザイン工学専攻 》

仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
 〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

(1) 出願手続は、次の書類等を整え、入試係又は教務係へ提出してください。

③、⑤、⑥及び⑧の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出 願 書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
② 写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)
③ 受験承諾書	本校所定の様式を使用し、勤務先の所属長が作成したもの。ただし、在職のまま入学する者に限る。(社印等のあるもの)
④ 在職証明書	在職期間、職務内容、身分を記載し所属長の発行したもの。 (様式任意、社印等のあるもの)
⑤ 入学志願者 自 己 調 書	本校所定の様式を使用し、出願者自身が作成したもの。
⑥ 調 査 書	本校所定の様式を使用し、出身学校長が作成し厳封したもの。 なお、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も併せて添付してください。情報電子システム工学専攻の志願者は、学年席次が記載されている必要があります。提出が難しい場合は、本校学務課入試係に申し出てください。 (※調査書には、成績証明書を添付する必要があります。)

⑦ 検 定 料	16、500円 本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。<u>ATMは証明書が発行されないため使用できません。</u> ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、<u>26ページの「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」</u>を参照してください。 また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書〔電信扱い〕(お客さま控))」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。 なお、納付済の検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。ただし、次の場合は検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。 ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に納付した場合
⑧ 宛 名 票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑨ 返信用封筒 (受験票送付用)	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、344円分(定形・速達)の切手を貼付してください。
⑩ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し(又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの)を提出してください。

(2) 出願及び受験上の注意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「**簡易書留郵便**」とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と朱書きし、**5月12日(木)16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 受験票は、入学願書の受付後発送します。5月17日(火)まで受験票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受験票を携行してください。
- ③ 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所(連絡先)に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ④ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。
- ⑤ 障害等を理由に入学選抜における合理的配慮の提供を希望する場合は、早めに本校学務課入試係までご相談ください。合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の1ヵ月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。なお、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は合否判定には一切影響ありません。

4. 選抜の方法

社会人特別選抜は、出身学校長から提出された調査書、入学志願者自己調書、小論文検査及び面接の結果を総合判定して行います。

(1) 検査日 令和4年5月19日(木)10時から

(2) 受験地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

5. 合格者の発表

令和4年5月27日(金)15時(予定)に合格者の受験番号を受験したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ(<https://www.sendai-nct.ac.jp/>)に掲載します。

電話・ファックス等による合否の照会には一切応じません。

6. 入学意思確認書の提出

社会人選抜に合格した者は、入学意思の確認のため令和4年6月2日（木）に「入学意思確認書」を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

VII 学力検査による入学者の選抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者（令和5年3月修了見込みの者を含む）のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (7) その他本校の専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、5月23日（月）までに入試係又は教務係まで電話等により照会してください。

2. 出願期間及び提出先

- (1) 受付期間 令和4年5月27日（金）から令和4年6月2日（木）
- (2) 受付時間 9時から16時まで
- (3) 提出先 **《 情報電子システム工学専攻 》**
仙台高等専門学校広瀬キャンパス 学務課入試係
〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

《 生産システムデザイン工学専攻 》
仙台高等専門学校名取キャンパス 学生課教務係
〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

※ 専攻により提出先が異なりますので注意してください。

3. 出願書類等及び出願手続

- (1) 出願手続は、次の書類等を整え、入試係又は教務係に提出してください。
③及び⑥の本校所定の様式は、本校ホームページからダウンロードできます。

出 願 書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
② 写 真 票 ・ 受 験 票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 (写真は縦4cm×横3cm、出願の3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向きのもの)

③ 調 査 書	本校所定の様式を使用し、在籍又は出身学校長が作成し厳封したもの。 情報電子システム工学専攻の志願者は、学年席次が記載されている必要があります。提出が難しい場合は、本校学務課入試係に申し出てください。 ※ 調査書には、成績証明書を添付する必要があります。 ※ 出願資格(1)、(3)、(4)、(5)により出願する者は、それぞれ下記の書類を提出してください。 ・ 出願資格(1)により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。 ・ 出願資格(3)により出願する者は、次の証明書等を併せて提出してください。 ① 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1、700時間以上の専門課程を修了したこと、又は修了見込みであることを証明する証明書 ② 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・ 出願資格(4)、(5)により出願する者は、出願資格に係る最終学校の成績証明書をもって代えます。修了証明書等があるときは当該書類も添付してください。
④ TOEIC スコア	TOEIC (TOEIC-IP含む) の公式認定証又はスコアレポートの原本を提出してください (コピーは不可)。 (ただし、オンライン版の試験を利用した TOEIC-IP のスコアは出願書類として利用できません。) 原本は確認後、返却します。
⑤ 検 定 料	16,500円 本校所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関の窓口にて振り込んでください。振込後、「検定料振込済証明書」を「検定料振込済証明書貼付票」に貼付してください。 <u>ATMは証明書が発行されないため使用できません。</u> ただし、ゆうちょ銀行をご利用の場合は、本校所定の振込依頼書を使用することができませんので、<u>26ページの「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」</u>を参照してください。 また、ゆうちょ銀行から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書〔電信扱い〕 (お客さま控))」を「検定料振込済証明書貼付箇所」に貼らずに提出してください。 なお、納付済の検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。ただし、次の場合は検定料を返還しますので、入試係又は教務係までお問い合わせください。 ・ 検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・ 検定料を誤って二重に納付した場合
⑥ 宛 名 票	本校所定の様式に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。
⑦ 返信用封筒 (受験票送付用)	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、344円分(定形・速達)の切手を貼付してください。ただし、出願時に願書を持参し、後日受験票を直接受け取る場合は不要です。
⑧ そ の 他	外国籍を有する志願者は、市区町村長の発行する住民票の写し (又は住民票記載事項証明書 *全事項が証明されているもの) を提出してください。

(2) 出願及び受験上の留意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「**簡易書留郵便**」とし、封筒の表に「**専攻科出願書類在中**」と朱書きし、**6月2日（木）16時まで**入試係又は教務係へ到着するようにしてください。
- ② 受験票は、入学願書の受付後発送します。6月7日（火）まで受験票が未着の場合は、入試係又は教務係に問い合わせてください。また、検査当日は、必ず受験票を携行してください。
- ③ 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所（連絡先）に変更が生じた場合は、速やかに入試係又は教務係に申し出てください。
- ④ 出願書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。また、受理した出願書類等は返還しません。
- ⑤ 障害等を理由に入学者選抜における合理的配慮の提供を希望する場合は、早めに本校学務課入試係までご相談ください。合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の1ヵ月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。なお、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は合否判定には一切影響ありません。

4. 選抜の方法

学力検査による入学者選抜は、在籍又は出身学校長から提出された調査書、学力検査の結果、面接の結果の内容等を総合判定して行います。

(1) 検査日 令和4年6月10日（金）

(2) 受験地 情報電子システム工学専攻 → 仙台高等専門学校広瀬キャンパス
生産システムデザイン工学専攻 → 仙台高等専門学校名取キャンパス

※ 集合時間・場所等の詳細については、別途お知らせします。

(3) 出題科目

英 語	TOE I C（TOE I C-I P含む）のスコアを利用
専門科目	【情報電子システム工学専攻（広瀬キャンパス）】 (1) 電気回路 ・ 直流回路 ・ 交流回路 ・ 過渡現象（R C回路、R L回路） (2) 電磁気学 ・ 静 電 気 ・ 磁 気 (3) 情報基礎 ・ 基礎理論（2進数、基数、数値表現、演算精度、集合、ベン図、論理演算、命題） ・ アルゴリズムとプログラム (データ構造、アルゴリズム、C言語を用いたプログラム)

専門科目	【生産システムデザイン工学専攻（名取キャンパス）】 生産システム工学コースは、「物理学Ⅰ（力学・熱分野）」、「物理学Ⅱ（波動・電気分野）」、「化学」の3科目から2科目を選択 ※分野の詳細は、高専モデルコアカリキュラム（Ⅱ－A、Ⅱ－C）に記載の内容になります。
	建築デザイン学コースは、「建築デザイン学A（建築計画〔都市計画、建築史、人間工学を含む〕、建築材料）」、「建築デザイン学B（建築環境工学、構造力学）」の2科目 ※ 両コースともに電卓を使用する計算問題を出題することがあります。使用する電卓は、本校で貸与します。
数 学	【情報電子システム工学専攻（広瀬キャンパス）】 基礎数学・微分積分・代数幾何・微分方程式・フーリエ解析
	【生産システムデザイン工学専攻（名取キャンパス）】 基礎数学・微分積分・代数幾何・微分方程式

(4) 学力検査・面接の時間

科 目 等	情報電子システム工学専攻	生産システムデザイン工学専攻
専 門 科 目	9 : 0 0 ～ 1 0 : 3 0	1 0 : 0 0 ～ 1 2 : 0 0
数 学	1 0 : 5 0 ～ 1 2 : 2 0	1 3 : 0 0 ～ 1 4 : 3 0
面 接	1 3 : 2 0 ～	1 4 : 5 0 ～

5. 合格者の発表

令和4年6月23日（木）15時（予定）に合格者の受験番号を受験したキャンパスに掲示するほか、合格者に「合格通知書」を送付します。

また、同時刻以降に本校ホームページ（<https://www.sendai-nct.ac.jp/>）に掲載します。

電話・ファックス等による可否の照会には一切応じません。

6. 入学意思確認書の提出

学力選抜に合格した者は、入学意思の確認のため、令和4年9月22日（木）までに「入学意思確認書」を提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

Ⅷ 入学手続及び諸経費

- (1) 入学手続期間：令和5年3月13日（月）・14日（火）（予定）

合格者に別途通知します。

- (2) 提出書類：合格者に別途通知します。

- (3) 入学手続時に納入する経費

・入学料 84,600円

- (4) 授業料 234,600円（年額）

前期分（4月～9月）及び後期分（10月～3月）の授業料各117,300円は、前期は5月に、後期は10月に金融機関口座から自動引き落としとなります。

※ 上記の経費等の金額は、関係規則の改正により改定されることがあります。

《高等教育の修学支援新制度》

「大学等における修学の支援に関する法律」により、本人の学修状況による「学業成績等に係る基準」と、家計状況が住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯であることを要件とする「家計に係る基準」の両方を満たす場合に、日本学生支援機構の給付型奨学金の支給や、授業料及び入学料の減免措置が行われる制度があります。

《入学料免除・徴収猶予制度》

入学前1年以内において、学資負担者の死亡又は風水害等の災害を受けたことにより経済的に入学料の納付が困難であると認められる者に対し、申請にもとづき選考の上、入学料を免除又はその徴収を猶予する制度があります。

《授業料免除・徴収猶予制度》

授業料の各期の納付期限前6月以内（入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者の死亡又は風水害等の災害を受けたことにより経済的に納付が困難であると認められる者に対し、申請にもとづき選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。また、授業料の徴収を猶予する制度、月割り分納の制度があります。

《奨学金制度》

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物共に優れ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

IX 長期履修学生制度

本専攻では、職業等を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同じです。詳細については下記へ問い合わせてください。

《情報電子システム工学専攻》

広瀬キャンパス学務課学務係（TEL 022-391-5537）

《生産システムデザイン工学専攻》

名取キャンパス学生課教務係（TEL 022-381-0265）

X 個人情報に関する取扱いについて

志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として使用するとともに、次の目的のためにのみ利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (5) 学生証の作成

XI 入試情報の開示について

入学試験成績の開示請求については、本校総務課情報企画係（TEL 022-391-5513）に問い合わせてください。

XII その他

- (1) 受験のための宿泊の斡旋は行っていません。
- (2) 出願等に関し不明な点があるときは、下記まで電話又は書面で問い合わせてください。

《 情報電子システム工学専攻 》

仙台高等専門学校 広瀬キャンパス 学務課入試係

TEL 022-391-5542

〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

《 生産システムデザイン工学専攻 》

仙台高等専門学校 名取キャンパス 学生課教務係

TEL 022-381-0254

〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山48番地

入 学 案 内

情報電子システム工学専攻

1. 目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。

情報電子システム工学専攻は、最先端の情報・電子製品を構成している情報・電子システム及びその融合技術に精通し、人間・社会・環境等に優しい技術開発に関与できる高度なエンジニアリングデザインの能力を身に付けた、ものづくり日本の伝統を承継できる国際的に通用する技術者の養成を目指しています。

2. 情報電子システム工学専攻の修業年限及び修了要件

(1) 修業年限 2年

(2) 修了要件 専攻科に2年以上在学し、当該専攻で開設されている全ての必修科目の単位数を含め62単位以上（一般科目10単位以上、専門科目52単位以上）を修得すること。

情報電子システム工学プログラムの場合は、5の「情報電子システム工学プログラムについて」の項を参照してください。

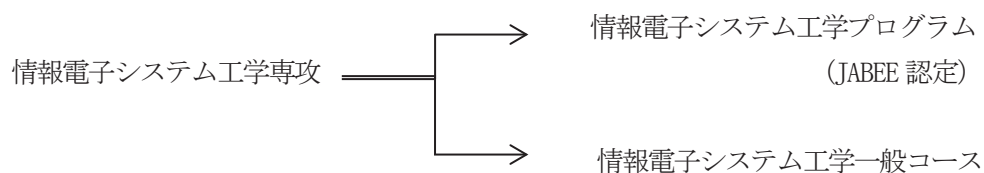
3. 情報電子システム工学専攻の特色

本専攻には、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けたコース（情報電子システム工学プログラム）と、認定を受けていないコース（情報電子システム工学一般コース）とがあります。

どちらのコースでも、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を得ることが可能です。認定を受けていないコースの修了要件は、情報電子システム工学専攻の修了要件と同じです。認定を受けたコースの登録要件と修了要件は、5の「情報電子システム工学プログラムについて」の項で明記します。

なお、各コースへの所属は、本人の希望により、1年次の4月中に決定しますが、その後のコース変更は原則として認められません。

情報電子システム工学専攻にある2つのコース（学生はいずれかのコースに属します。）



対応する準学士課程の分野：電気工学、電子工学、情報工学など

大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分：電気電子工学、情報工学

4. 学位（学士）の取得方法

大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の特攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、同機構の審査に合格した者は学士の学位を取得できます。

学位の申請には審査手数料として32,000円が必要となります。

従来は学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する方式で行っていましたが、平成27年度に本専攻は同機構の特例適用認定を受けたことで、現在は学校が申請者全員分をまとめて学位授与機構に提出し、一括審査される方式で行っています。

なお、①本校以外の教育機関からの入学（本校でキャンパスが異なる場合も含む）や、②本校準学士課程卒業後、期間を置いて入学する場合、③本校準学士課程において留年した場合は、本校の授業科目と単位の読替を行います。その読替状況によっては特例適用による学位申請が行えない場合がありますので、出願受付開始前に本校広瀬キャンパス学務課までご相談ください。特例適用による学位申請が行えない場合は、学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する従来方式となります。

※②③とも、教育課程に変更が無い場合は特例適用による方式となります。

5. 情報電子システム工学プログラムについて

(1) プログラムの概要

準学士課程4年次から専攻科2年次までの4年間は、「情報電子システム工学プログラム」に基づいた教育が行われます。

本教育プログラムは2002年度のJABEE（Japan Accreditation Board for Engineering Education：日本技術者教育認定機構）の認定を受け、4年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。

プログラム修了生は次のような資格を得ることができます。

- (1) 技術士第1次試験を免除されて直接「修習技術者」となる。
- (2) 将来、規定された条件の下での実務経験を経て、最短4年で技術士の受験資格が得られる。

〔プログラムの学習・教育到達目標〕

情報電子システム工学プログラムでは、以下の5点に掲げるような能力・姿勢を身に付けることを学習・教育到達目標としています。

- (A) 実践的技術者としての高度でかつ幅広い基本的能力・素養
 - (A-1) 数学・自然科学・情報技術に関する知識の習得とそれらを応用する能力
 - (A-2) 当該分野において必要とされる専門知識とそれらを応用する能力
 - (A-3) 自主的、継続的に学習する能力
- (B) 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力
 - (B-1) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
 - (B-2) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (C) 国際的に通用するコミュニケーション能力
 - (C-1) 英語による表現能力と国際性の獲得：「専攻英語Ⅰ」「専攻英語Ⅱ」
 - (C-2) 専門分野に関する表現能力：「専攻研究Ⅰ」「専攻研究Ⅱ」
- (D) 社会的要請を考えて研究・開発する能力

- (D-1) 物事を幅広い視点から考えることができ、偏らない判断のできるエンジニア
 (D-2) 技術の発展が社会や環境に及ぼす効果や影響を、把握・評価できるような、技術者倫理をしっかりと身につけたエンジニア
 (E) 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力

(JABEE 認定基準 基準1.2 の知識・能力観点)

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
 (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
 (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
 (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
 (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
 (g) 自主的、継続的に学習する能力
 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
 (i) チームで仕事をするための能力

各学習・教育到達目標〔A～E〕が基準1.2の知識・能力観点(a)～(i)を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入しています。

基準1.2の 知識・能力観点 学習・教育目標	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
A-1			◎						
A-2				◎					
A-3							◎		
B-1					◎				
B-2								◎	
C-1	○					◎			
C-2						◎			
D-1	◎								
D-2		◎							
E									◎

さらに、このプログラムの修了には、大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を得ることも、その必要な条件となっています。なお、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格することにより「学士（工学）」の学位を取得し、大学卒業と同等となるとともに、大学院の受験資格を得られます。

〔プログラム登録者の決定方法〕

高専の4年、5年において、以下に示す科目を60点以上で修得していることが必要条件です。

- | |
|---|
| 技術者倫理に関する科目：1単位以上 |
| 数学（応用数学など）に関する科目：2単位以上 |
| 自然科学に関する科目：4単位以上 |
| 情報処理に関する科目：1単位以上 |
| 専門基礎（電磁気学、電気／電子回路など）に関する科目：4単位以上 |
| 工学実験（創造的製作を含む）に関する科目：5単位以上（卒業研究を含めてもよい） |

ただし、本校広瀬キャンパスの準学士課程を卒業した学生については、添付の「学習・教育到達目標とプログラム対応科目」の表に上げられている科目とします（これは上記の条件を満足しています）。

また、カリキュラム上、やむを得ない理由で上記科目の履修ができなかった学生は、専攻科在籍中に授業時間割上可能な範囲で、専攻科修了要件には含まれない自由聴講科目として履修することができます。

なお、専攻科入学後、条件を満たしている学生について、その意志を確認してプログラム登録者とします。

（2）「情報電子システム工学プログラム」修了要件

- （1）高専の4年、5年の課程において、指定の科目を60点以上で修得していること。
- （2）学習・教育到達目標とプログラム対応科目の表に指定されている条件を満たした上で、専攻科の修了要件も満足すること。
- （3）大学改革支援・学位授与機構より、学士の学位を受けること。



学習・教育到達目標とプログラム対応科目

プログラムの学習・教育到達目標 JABEE認定基準の知識・能力観点	情報電子システム工学専攻		情報システムコース(IS)		情報通信コース(IT)		知能エレクトロニクスコース(E)		応用科学コース(AS)	
	科目名	学年・単位・修得	科目名	学年・単位・修得	科目名	学年・単位・修得	科目名	学年・単位・修得	科目名	学年・単位・修得
(A)実践的技術者としての高度でかつ幅広い基本的能力・素養 (a)数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを活用する能力	工業数学	1 2	◎線形代数	4 1	◎線形代数	4 1	◎線形代数	4 1	◎線形代数	4 1
	情報論理学	2 2	*1フーリエ解析	4 1	◎フーリエ解析	4 1	◎フーリエ解析	4 1	◎フーリエ解析	4 1
(d)当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力	物理化学	2 2	*2化学特論	4 2	*2化学特論	4 2	*2化学特論	4 2	*2化学特論	4 2
	データ解析	1 2	◎生物学	5 2	*2生物学	5 2	*2生物学	5 2	*2生物学	5 2
			◎地球科学	5 2	*2地球科学	5 2	*2地球科学	5 2	*2地球科学	5 2
			◎プログラミング	3 2	◎プログラミング	3 2	◎プログラミング	3 2	◎プログラミング	3 2
(d)当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力	エレクトロニクス論	1 2	*3情報理論	4 2	*3情報理論	4 2	*3情報理論	4 2	*3情報理論	4 2
	知能ロボティクス論	1 2	*3ソフトウェア分析設計	4 2	*3ソフトウェア分析設計	4 2	*3ソフトウェア分析設計	4 2	*3ソフトウェア分析設計	4 2
	コミュニケーション論	1 2	*3ソフトウェア工学基礎	4 2	*3ソフトウェア工学基礎	4 2	*3ソフトウェア工学基礎	4 2	*3ソフトウェア工学基礎	4 2
	ソフトウェア論	1 2	*3マルチメディア情報	4 2	*3マルチメディア情報	4 2	*3マルチメディア情報	4 2	*3マルチメディア情報	4 2
	情報社会学特論	1 2	*3ネットワーク理論	4 2	*3ネットワーク理論	4 2	*3ネットワーク理論	4 2	*3ネットワーク理論	4 2
	組込みシステム設計	1 2	*3情報セキュリティ	4 2	*3情報セキュリティ	4 2	*3情報セキュリティ	4 2	*3情報セキュリティ	4 2
	システム管理	1 2	*3ソフトウェア設計	4 2	*3ソフトウェア設計	4 2	*3ソフトウェア設計	4 2	*3ソフトウェア設計	4 2
	システムの管理	1 2	*3ソフトウェア設計	4 2	*3ソフトウェア設計	4 2	*3ソフトウェア設計	4 2	*3ソフトウェア設計	4 2
	物質の構造と性質	2 2	*3情報セキュリティ	4 2	*3情報セキュリティ	4 2	*3情報セキュリティ	4 2	*3情報セキュリティ	4 2
	応用電磁気学	2 2	*3マイクロコンピュータ応用	4 2	*3マイクロコンピュータ応用	4 2	*3マイクロコンピュータ応用	4 2	*3マイクロコンピュータ応用	4 2
(e)自主的、継続的に学習する能力	画像処理論	2 2	*3電磁気学	4 2	*3電磁気学	4 2	*3電磁気学	4 2	*3電磁気学	4 2
	知能工学	2 2	*3電子回路	4 2	*3電子回路	4 2	*3電子回路	4 2	*3電子回路	4 2
	インターネットアーキテクチャ	2 2	*3電子デバイス	4 2	*3電子デバイス	4 2	*3電子デバイス	4 2	*3電子デバイス	4 2
	専攻研究 I	2 2	*3電子計測	4 2	*3電子計測	4 2	*3電子計測	4 2	*3電子計測	4 2
	専攻研究 II	2 2								
(B)融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力	専攻実習	1 6	*4第1期実験 I	4 1	*4第1期実験 I	4 1	*4第1期実験 I	4 1	*4第1期実験 I	4 1
	インターンシップA	1 3	*4第1期実験 II	4 2	*4第1期実験 II	4 2	*4第1期実験 II	4 2	*4第1期実験 II	4 2
	インターンシップB	1 7								
	専攻研究 I	1 6	◎第1期実験 I	4 1	◎第1期実験 I	4 1	◎第1期実験 I	4 1	◎第1期実験 I	4 1
	専攻研究 II	2 8	◎第1期実験 II	4 2	◎第1期実験 II	4 2	◎第1期実験 II	4 2	◎第1期実験 II	4 2
(C)国際的に通用するコミュニケーション能力	専攻英語 I	1 2								
	専攻英語 II	2 2								
	専攻英語 III	1 2								
	専攻英語 IV	2 2								
	専攻研究 I	1 6								
	専攻研究 II	2 8								
(D)社会的要請を考えて研究・開発する能力	思想史	2 2	◎情報社会学	5 2	◎情報社会学	5 2	◎情報社会学	5 2	◎情報社会学	5 2
	社会経済学	1 2	◎技術者倫理	5 2	◎技術者倫理	5 2	◎技術者倫理	5 2	◎技術者倫理	5 2
	思想史	2 2	◎情報社会学	5 2	◎情報社会学	5 2	◎情報社会学	5 2	◎情報社会学	5 2
	情報社会学特論	1 2	◎技術者倫理	5 2	◎技術者倫理	5 2	◎技術者倫理	5 2	◎技術者倫理	5 2
	企業社会学	1 2								
(E)高度な変遷的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力	知能ロボティクス論	1 2	◎融合型PBL	4 2	◎融合型PBL	4 2	◎融合型PBL	4 2	◎融合型PBL	4 2
	組込みシステム設計	1 2								
	(特記)									

*1 うち、2単位以上履修のこと
*2 うち、4単位以上履修のこと
*3 融通枠(30単位以上履修のこと)
*4 うち、3単位以上履修のこと
*5 うち、2単位以上履修のこと
*6 うち、4単位以上履修のこと
◎ 単独でプログラム対応科目(JABEEでは必ず履修)

6. 修了後の進路

平成5年度に専攻科設置後、754名が修了しており、平成30年度以降の修了後の進路は次のとおりです。

令和2年度修了生

就 職 先
アルプスアルパイン(株)、インフォメーションサービスフォース(株)、(株)エイアンドティー、NEC フィールドディング(株)、(株)NTT データ、OKI クロステック(株)、(株)協和エクシオ、コニカ ミノルタジャパン(株)、サンリツオートメイション(株)、(株)DNP デジタルソリューションズ、東北電力(株)、(株)トヨタシステムズ、トヨタ自動車東日本(株)、富士フイルムビジネスエキスパート(株)、マーザ・アニメーションプラネット(株)、(株)メンバーズ、(株)ユアテック
進 学 先
東北大学大学院情報科学研究科、東北大学大学院工学研究科、奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科

令和元年度修了生

就 職 先
アスクル(株)、(株)NTT ドコモ、エリクソンジャパン(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、(株)シーエーシー、(株)シムネット、通研電気工業(株)、(株)DNP デジタルソリューションズ、東京エレクトロン(株)、東北インフォメーション・システムズ(株)(TOiNX)、トヨタ自動車東日本(株)、(株)トラスト・ネクストソリューションズ、ニフティ(株)、日本プロセス(株)、(株)ビッツ、富士通クラウドテクノロジーズ(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、ラピスセミコンダクタ宮城(株)
進 学 先
北海道大学大学院保健科学研究院、東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、東北大学大学院理学研究科、筑波大学理工情報生命学術院、豊橋技術科学大学大学院工学研究科、奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科、長岡技術科学大学大学院工学研究科

平成30年度修了生

就 職 先
(株)アウトソーシングテクノロジー、AMEC コンサルタンツ(株)、NEC ネットエスアイ(株)、クロック(株)、KDDI(株)、コスモリサーチ(株)、(株)スピーディア、(独)国立高等専門学校機構仙台高等専門学校、ソーバル(株)、(株)ソシオネクスト、ソフトバンク(株)、TDC ソフト(株)、テラテクノロジー(株)、(株)日本デジタル研究所、日本電産(株)、日本電設工業(株)東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ハイテクフィールドディング、ホーチキ(株)、(株)山本製作所
進 学 先
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院理学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、豊橋技術科学大学大学院工学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科

生産システムデザイン工学専攻

1. 目的

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。生産システムデザイン工学専攻は、持続可能な社会の実現に資する、分野にとらわれない技術の複合・融合化や、全ての工程を見通した総合的な技術革新に携わることのできる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた、国際的に通用する技術者の養成を目指しています。

2. 生産システムデザイン工学専攻の修業年限及び修了要件

- (1) 修業年限 2年
- (2) 修了要件 専攻科に2年以上在学し、学則に定める授業科目を履修し、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上、計62単位以上を修得すること。

3. 生産システムデザイン工学専攻の特色

仙台高等専門学校専攻科生産システムデザイン工学専攻は次の2コースから構成され、その教育はコース毎に行われます。

- (1) 生産システム工学コース
- (2) 建築デザイン学コース

コースへの配属は各自の希望に基づき、決定されます。
各コースの教育方針は以下のとおりです。

(1) 生産システム工学コース

人間と環境との調和を重視し、複数領域の技術を融合して社会が必要とする新技術の開発と高度な生産システムを構築・発展させることができる技術者を養成する。コースでは、準学士課程で習得した機械工学系、電気工学系、材料工学系の専門の基礎の上に、更に高度な専門技術を学ぶとともに、一般科目及び専門基礎科目として多面的に展開する科目群を配置することにより、積極的に他分野の技術も学習する。これらの技術を、指導教員の下で研究を行う専攻研究、企業等でのインターンシップ、複合的なテーマの広範な実験・実習等を通して研鑽し、人間と環境との調和を重視する複眼的視野の下に応用、展開できる能力を身に付けさせる。

対応する準学士課程の分野：機械工学、電気工学、電子工学、材料工学、化学工学など

大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分

：機械工学、電気電子工学、材料工学

(2) 建築デザイン学コース

建築学、デザイン学、人間科学に加えて、幅広い工学基礎をも包含した科目群を総合的に学び、将来明るく幸せな暮らしができる住まいから都市まで、将来質の高い住空間、社会環境のデザイン全般に携わる責任感のある公平公正な人材を育成する。コースでは、準学士課程5年間で学ぶ建築設計、建築計画、建築環境工学、建築構造、デザイン学、人間科学に立脚し、建築関連科目に関しては、それぞれの問題解決能力を高めるための科目を配置し、デザイン学、人間科学に関しては、その建築への応用を目指した科目を配置する。さらに、幅広い工学基礎科目を加えた教育課程編成とすることにより、これらを応用できる総合力を習得させる。

対応する準学士課程の分野：建築学、土木工学、建設工学など

大学改革支援・学位授与機構の審査における専攻の区分：建築学

4. 学位（学士）の取得方法

大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の専攻科で2年以上にわたって62単位以上を修得し、同機構の審査に合格した者は学士の学位を取得できます。

学位の申請には審査手数料として32,000円が必要となります。

従来は学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する方式で行っていましたが、平成27年度に本専攻は同機構の特例適用認定を受けたことで、現在は学校が申請者全員分をまとめて学位授与機構に提出し、一括審査される方式で行っています。

なお、①本校以外の教育機関からの入学や、②本校準学士課程卒業後、期間を置いて入学する場合、③本校準学士課程において留年した場合は、本校の授業科目と単位の読替を行います。その読替状況によっては特例適用による学位申請が行えない場合がありますので、出願受付開始前に本校名取キャンパス学生課までご相談ください。特例適用による学位申請が行えない場合は、学生個人が学位授与機構の試験を受けて学位を取得する従来方式となります。

※②③とも、教育課程に変更が無い場合は特例適用による方式となります。

5. 「生産システムデザイン工学」教育プログラムについて

(1) プログラムの概要

準学士課程4年次から専攻科2年次までの4年間は、「生産システムデザイン工学」教育プログラムに基づいた教育が行われます。

本教育プログラムは2002年度のJABEE（Japan Accreditation Board for Engineering Education：日本技術者教育認定機構）の認定を受け、4年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。

プログラム修了生は次のような資格を得ることができます。

- (1) 技術士第1次試験を免除されて直接「修習技術者」となる。
- (2) 将来、規定された条件の下での実務経験を経て、最短4年で技術士の受験資格が得られる。

「生産システムデザイン工学」教育プログラムは、以下に掲げる項目を学習・教育到達目標としています。

(A) : 「数学、自然科学、情報技術に関する能力」

産業の様々な要求に応える数学、自然科学、情報技術を使いこなす、又は、工業技術に応用できる基礎能力を持った技術者

- | |
|---|
| A-1 数学・自然科学を理解し、使いこなせる基礎能力 <u>((c) 自然科学)</u> |
| A-2 情報技術を理解し、工業技術に応用できる基礎能力 <u>((c) 基礎情報技術)</u> |

(B) : 「歴史・文化、環境、技術者倫理を理解する能力」

歴史や文化の多様性を常に考え、人間を取り巻く環境を重視して、技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する倫理を持った技術者

- | |
|--|
| B-1 歴史や文化を理解できる能力 <u>((a) 文化系教養)</u> |
| B-2 技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者として責任を持って行動できる能力 <u>((b) 技術者倫理)</u> |

(C) : 「日本語・外国語、コミュニケーション基礎能力」

日本語により、記述し、発表・討論する能力、及び、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を持った技術者

- | |
|---|
| C-1 日本語により、記述・発表・討論する能力 <u>((f) 日本語コミュニケーション)</u> |
| C-2 国際的に通用するコミュニケーション基礎能力 <u>((f) 外国語コミュニケーション)</u> |

(D) : 「設計・企画・デザインする能力」

工業技術システムを理解し、設計・企画・デザインする能力を持った技術者

- | |
|---|
| D-1 専門分野に関する工業技術を理解し、応用する能力 <u>((d) 専門の基礎能力)</u> |
| D-2 専門分野と周辺の工業技術を理解し、デザインに応用展開できる能力 <u>((e) 専門のデザイン力)</u> |

(E) : 「自主的・継続的に創造・開発・解決する能力とチームワーク力」

自主的・継続的に新しい工業技術を学習し、与えられた制約の下で計画的に創造・開発してまとめる基礎能力とチームワーク力を持った技術者

- | |
|---|
| E-1 自主的・継続的に新しい、工業技術を学習する能力 <u>((g) 自主性・継続性)</u> |
| E-2 与えられた制約の下で計画的に、問題解決・開発・創造してまとめる基礎能力とチームワーク力 <u>((h) 計画とまとめ力) ((i) チームワーク)</u> |

上記文末 (a)～(i) の具体的な内容は以下のとおりです。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会及び自然に及ぼす影響や効果、技術者が社会に対して負っている責任に関する理解(技術者倫理)
- (c) 数学、自然科学、情報技術に関する知識とそれらに応用できる能力
- (d) 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力
- (e) 種々の科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力、及び、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力
- (g) 自主的・継続的に学習できる能力

- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をする能力

(2) 「生産システムデザイン工学」教育プログラム修了要件

1	学位（学士）取得者
2	生産システムデザイン工学教育プログラムにおいて、124単位以上修得者。
3	数学の分野に関しては、「微分積分学、線形代数、微分方程式、確率と統計、数値解析、応用数学などに関連する科目群」の中の6群から4群にわたって、直接関連する科目を4科目以上修得すること。
4	物理、化学、生命科学などについては、物理、化学、生命科学（地球物理学、遺伝子工学、環境科学等を含む）の3群について、直接関連する科目を各群から1科目以上、合計3科目以上修得すること。
5	「基礎工学並びに専門工学の知識・能力」の中の各系（「設計・システム系科目群」、「情報・論理系科目群」、「材料・バイオ系科目群」、「力学系科目群」）の各群から1科目以上、合計6科目以上修得すること。
6	「工業技術システムを理解する能力科目群」、「設計・企画・デザインする能力科目群」、「新しい工業技術を創造・開発できる能力科目群」、「工業システムを再構築できる能力科目群」の各群から1科目以上、合計6科目以上修得すること。
7	専攻実験を必ず修得すること。
8	工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探索し、組み立て、解決する能力科目群として、①卒業研究、②専攻研究Ⅰ及び専攻研究Ⅱを修得するとともに、③研究内容の学会などで学外発表をすること。
9	技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力科目群として、①創造工学演習、②インターンシップA、インターンシップB、エンジニアリング実習及び専攻実習から合計4単位以上、①及び②を合わせて8単位以上修得すること。
10	「歴史・文化を理解する能力科目群」の中から2科目以上修得すること。 「社会技術系科目群」の中の「技術者倫理科目群」から2科目以上、「社会・地球環境科目群」から2科目以上修得すること。
11	英語の能力については、Educational Testing Serviceが行うTOEIC（Test of English for International Communication）で400点相当以上の能力を備えていること。

※ 本校以外の教育機関から入学する者は、準学士課程相当の科目を本校準学士課程の科目に読み替える必要があり、その結果、プログラム修了要件を満たすことができない場合がありますので、出願前に本校名取キャンパス学生課までご相談ください。

6. 修了後の進路

平成10年度に宮城工業高等専門学校に専攻科設置後、743名が修了しており、平成30年度以降の修了生の進路は次のとおりです。

令和2年度修了生

就 職 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
(株)IHI キャスティング、アルプスアルパイン(株)、NTT 東日本グループ会社、キヤノンメディカルシステムズ(株)、(株)小松製作所、サントリースピリッツ(株)、JXTG エネルギー(株)中央技術研究所、SUBARU テクノ(株)、大陽日酸(株)、(株)TDC、デクセリアルズ(株)、テルモ(株)、(株)デンソーFA 山形、東新工業(株)、トヨタ自動車東日本(株)、(株)日産アーク、日本化学産業(株)、日本ファインセラミックス(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)フジドリームエアラインズ、三井住友金属鉱山伸銅(株)、(株)メンバーズ、ヤマセ電気(株)、レイズネクスト(株)	(株)NTT ファシリティーズ中央、(株)NTT ファシリティーズ東北、(株)MBM、住友不動産(株)、仙台市役所、(株)大気社、大東建託(株)、(株)竹中工務店、日本ステージ(株)、(株)L I X I L
進 学 先	
生産システム工学コース	
東北大学大学院理学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、豊橋技術科学大学大学院工学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科	

令和元年度修了生

就 職 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
出光興産(株)、(株)NHK テクノロジーズ、MHPS エンジニアリング(株)、大阪ガス(株)、(株)サイバーエージェント、サントリーホールディングス(株)、JXTG エネルギー(株)、(株)資生堂、セコム工業(株)、仙台市、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、中外製薬(株)、東京エレクトロン(株)、東洋インキ(株)、日揮(株)、日東電工(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、日本放送協会、パイオニアシステムテクノロジー(株)、富士フイルムビジネスエキスパート(株)、富士フイルムメディカル(株)、メタウォーター(株)	ArchiTech(株)、(株)昴設計、生物建築舎、仙台市役所、大成建設(株)、大東建託(株)、大和ハウス工業(株)、(株)復建技術コンサルタント、三菱地所コミュニティ(株)
進 学 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院情報科学研究科、長岡技術科学大学大学院工学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科	東北大学大学院工学研究科、豊橋技術科学大学大学院工学研究科、北海道大学大学院工学研究科、横浜国立大学大学院都市イノベーション学府

平成30年度修了生

就 職 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
旭化成(株)、出光興産(株)、(株)NTTファシリティーズ中央、NOK(株)、オリンパス(株)、コスモシステム(株)、サントリーホールディングス(株)、(株)シムネット、常磐共同火力(株)、SUBARU テクノ(株)、セイコーインスツル(株)、仙台市、東京電力(株)、東北電力(株)、日揮(株)、日東紡績(株)、パナソニック(株)アプライアンス社、パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社、非破壊検査(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)宮城ニコンプレシジョン、(株)明電舎、(株)メンバーズ	加和太建設(株)、(有)木の香の家、(株)建築工房零、大東建託(株)、東北電力(株)、(株)福建技術コンサルタント
進 学 先	
生産システム工学コース	建築デザイン学コース
東北大学大学院工学研究科、東北大学大学院環境科学研究科、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科、筑波大学大学院システム情報工学研究科、東京農工大学大学院工学府	東北大学大学院工学研究科

共通事項

1. 専攻科の教育目標

1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成
2. 広く深い視野をもつ実践的で創造的な技術者の養成
3. 地域や国際社会に貢献できる技術者の養成

2. 専攻科のディプロマポリシー

仙台高等専門学校は目標とする人材を育成するため、本校に在籍し専攻科課程において以下に掲げるような能力・姿勢を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。

- ①実践的技術者としての高度にかつ幅広い基本的能力・素養
- ②融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力
- ③国際的に通用するコミュニケーション能力
- ④社会的責任を考えて研究・開発する能力
- ⑤高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力

3. 専攻科のカリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた能力の育成を目的に、専攻科では、準学士課程で培った実践的かつ創造的能力、及び人間力を更に高め、融合複合領域において国際的に通用する高度な実践的技術者を養成するため、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

- ①準学士課程で培った実践的技術者としての基本的能力・素養をより高度にかつ幅広く習得することが可能な、一般・専門科目群を配置する。
- ②融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力を育成するために、専攻実験・演習、専攻研究等の異なる技術の創造的な融合に取り組む科目を配置する。
- ③国際的に通用するコミュニケーション能力を育成するために、英語、専攻英語、専攻研究等の日本語・外国語による討論や対外的な研究発表を行う科目を配置する。
- ④社会的責任を考えて研究・開発する能力を育成するために、倫理観を涵養する技術者倫理、思想史、及び地域・企業と連携して教育するインターンシップ等の科目を配置する。
- ⑤高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力を育成する科目、創造工学演習、専攻実験・演習、専攻研究等を配置する。

これらの科目群に係る単位修得の認定は、定期試験並びに小テスト、レポートなどの成績を総合的に評価し認定する。

科目の成績は、下記の基準により評価する。

- | | |
|--------------|----|
| S (90～100 点) | 特優 |
| A (80～89 点) | 優 |
| B (70～79 点) | 良 |
| C (60～69 点) | 可 |
| D (0～59 点) | 不可 |

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、**現金による振込はできません**。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口でゆうちょ銀行の「振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、「検定料振込済証明書貼付票」には貼らずに、「検定料振込済証明書貼付票」といっしょに提出してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034	振込依頼書(兼振替払出請求書)[電信扱い]	「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛					
※本枠からはみ出ないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※□枠欄は、該当の項目にレ印をつけてください。 ▲ 総合口座の場合は通帳に記載のある方のみご記入ください。							
ご依頼日	年 月 日	※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 ※お受取人負担のお取扱いはできません。					
お受取人	金融機関名 ☐ 銀行 ☐ 信金 ☐ 信組 ☐ 農協 ☐ その他 	支店名 支店					
	預金種目 口座番号	金額					
	おなまえ	※金額の欄部に「¥」をご記入ください。					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">振込金額</td> <td style="width: 33%;">5万円未満</td> <td style="width: 33%;">5万円以上</td> </tr> <tr> <td>料金(消費税込)</td> <td>648円</td> <td>864円</td> </tr> </table>		振込金額	5万円未満	5万円以上	料金(消費税込)	648円
振込金額	5万円未満	5万円以上					
料金(消費税込)	648円	864円					
様							
ご依頼人	おところ 郵便番号 (-)						
	フリガナ						
	おなまえ						
	様						
ご依頼人	日中ご連絡先電話番号	通知番号					
	※お受取人様に通知を希望される番号(最大10桁)がある場合(お名前前の数字を入れる場合)に左詰めでご記入ください。						
	記号 ▲ 番号(左詰めでご記入ください)						
	払出口座番号						
払出口座名義人(代理人)		お届け印					
おなまえ							
様							
科 目 取扱年月日 取扱店番号	取扱時間 処理通番 振込先	受払摘要 代行店番号					
請求種別	お受取人おなまえ	様					
払出口座番号	払出口座名義人 ご住所	様					
振込金額 合計金額	円 振込料金 円 払出明細番号	円 (消費税等を含む。)					
<取扱店使用欄>							
モー 印 確 本・代・使 新 本・代・法 開 検 印 取 受 ド 入 認 認 取 任・順 帳 査 入 付 カ 金 可 可 扱 任 簿 査 合 付 ー 庫 可 可 扱 任 簿 査 合 付 ド 庫 可 可 扱 任 簿 査 合 付 ー 庫 可 可 扱 任 簿 査 合 付							
(1枚目) OCR用 (取扱郵便局・取扱店→受付総合センター) 〒646000(27-1F) ゆうちょ銀行							

入学願書

記入上の注意

- 1 学歴・職歴は、中学校卒業後から記入すること。
- 2 勤務先は、企業等に在職のまま入学を希望する者のみ記入すること。
- 3 ※欄は、記入しないこと。
- 4 ペン又はボールペン（黒又は青）を使用し、楷書で正確に記入すること。

写 真 票

令和5年度 専攻科

受験番号	※
選抜区分	推薦・ 社会人 特別 ・学力
志望専攻名	工学専攻
志望コース名 (生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ)	生産・建築
ふりがな	
氏 名	
生年月日	西暦 年 月 日

写 真

上半身・脱帽・正面で、
出願の3か月以内に
撮影したものを貼付
(縦4cm×横3cm)

仙台高等専門学校

※印の欄は記入しないこと。

受 験 票

令和5年度 専攻科

受験番号	※
選抜区分	推薦・ 社会人 特別 ・学力
志望専攻名	工学専攻
志望コース名 (生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ)	生産・建築
ふりがな	
氏 名	

選抜日時

推薦選抜

令和4年 5月19日 (木) 10時

社会人特別選抜

令和4年 5月19日 (木) 10時

学力選抜

令和4年 6月10日 (金)

- ・情報電子システム工学専攻 9時
- ・生産システムデザイン工学専攻 10時

検査場所

情報電子システム工学専攻

→ 広瀬キャンパス

生産システムデザイン工学専攻

→ 名取キャンパス

仙台高等専門学校

※印の欄は記入しないこと。

(切り離さないでください)

受 験 番 号	※
---------	---

検定料振込済証明書貼付票

志 願 者 氏 名

〔 検定料振込済証明書 (学校提出用) 貼付箇所 〕 ◎ 取扱銀行収納印のある 「検定料振込済証明書」 を貼付してください。 (本人保管の「受取書」は 貼付しないでください。 また、取扱銀行収納印の ないものは無効です。) ◎ 必ず銀行の受付窓口で 振り込んでください。 A T Mからの振込は証明 書が発行されないため 使用できません。
--

※印の欄は記入しないこと。

- ・ 既納の検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

令和5年度 仙台高等専門学校
専攻科入学者選抜

調 査 書

		受験番号		※	
		志望専攻		工学専攻	
ふりがな			学 校	国 立	高等専門学校
氏 名			・ 学科名	公 立 私 立	学科
生年月日	西暦	年	月	日	西暦 年 月 入学・編入学・転入学
性 別	男 ・ 女		西暦	年	月 卒業・卒業見込
成 績 証 明 書	出身高等専門学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成し厳封したものを添付してください（成績の評価を標語で記入の場合は、標語の評点基準を明示してください。）。				
評 価 ポイント	(※1) 3・4年次：		(※2) 3年次： 4年次：		
(※1) 学 年 席 次	学年	順 位	標 語 の 評 点 基 準		
	1 年	人 中 位	S	秀	点～ 点
	2 年	人 中 位	A	優	点～ 点
	3 年	人 中 位	B	良	点～ 点
	4 年	人 中 位	C	可	点～ 点
	5 年	人 中 位	D	不可	点～ 点
卒業研究 題 目					
在 学 中 の 状 況					
	休学期間： 休学理由：				
	記載者氏名				印
上記のとおり相違ないことを証明する。 西暦 年 月 日 所 在 地 学 校 名 学校長名 職印					

- ・受験番号欄は、記載しないでください。
 - ・在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。
 - ・(※1)は情報電子システム工学専攻、(※2)は生産システムデザイン工学専攻の志願者のみ、記入してください。
- 評価ポイントは、募集要項2ページの計算方法により、情報電子システム工学専攻は3年次と4年次を合わせて計算し、生産システムデザイン工学専攻は3年次、4年次を別に記入してください。学年席次は、統合高専においては、キャンパス内席次、又、学年席次が不可能な学校は、学科席次で読み替えてください。

推薦選抜用

受験番号	※
志望専攻 (志望する専攻を○ で囲んでください)	情報電子システム工学専攻 生産システムデザイン工学専攻

推 薦 書

西暦 年 月 日

仙台高等専門学校長 殿

学 校 名
学校長名 印

下記の者は、学業成績、人物共に優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい者と認められるので推薦します。

記

所 属 : 学科 コース

氏 名 :

生年月日 : 西暦 年 月 日生

記載者の 職・氏名	印
--------------	---

推 薦 事 由	
そ の 考 他 事 の 由	

※印の欄は記入しないこと。

入 学 志 願 者 自 己 調 書

受験番号

※

志望専攻
(該当に○)

情報電子システム工学専攻 ・ 生産システムデザイン工学専攻

所 属
(学校/ 学科)
(企業/課・係)

ふりがな

氏 名

① 進学の動機

② 大学編入ではなく
本校専攻科を
志望する理由③ 学科在学中に力
を入れたこと

④ 卒業研究題目

⑤ 卒業研究要旨

◎ 両面印刷のこと

受験番号	※
ふりがな 氏 名	
志望専攻 (該当に○)	情報電子システム ・ 生産システムデザイン 工学専攻

⑥ 専攻科で力を入れたいこと（専攻研究以外で）	
⑦ 専攻研究に関する抱負	
⑧ 専攻科修了後の進路について	

以上

※印の欄は記入しないこと。

社会人特別選抜用

受験番号	※
------	---

	
---	--

受 験 承 諾 書

西曆 年 月 日

仙台高等専門学校長 殿

企業等名：

所 属 長: 印

下記の者が、仙台高等専門学校専攻科 社会人特別選抜検査を受験することを承諾します。

記

出願者氏名：

生 年 月 日： 西曆 年 月 日（ 歲）

所属(部課等) :

在 職 期 間： 自 西 曆 年 月 日
 至 現 在

※印の欄は記入しないこと。

宛 名 票

□□□-□□□□ 	※受験番号
様方 様	

□□□-□□□□ 	※受験番号
様方 様	

- この宛名票は、本校より受験者宛てに通知する際に使用するものです。番地まで楷書で正確に記入してください。団地等に住んでいる場合は、〇〇団地〇〇号棟〇〇番と記入しないと郵便物が届かない場合がありますので、特に注意してください。
- ※印欄は記入しないでください。
- 記入後は、切り離さずにこのまま同封してください。

検定料振込依頼書

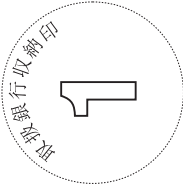
※必ず銀行の窓口で振込手続き
をしてください。
(ATM 使用不可)

※ここから切り離して使用してください

検定料振込済証明書
〔 志願者が高専 へ提出する 〕

令和	年	月	日
金額	¥	1	6
振込先 銀行	七十七銀行宮城町支店		
受取人	普通	口座番号	5 4 2 8 6 8 8
	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
氏名(カナ)			
ご依頼人 (志願者)			
摘要	令和5年度	入学試験検定料	

(注意)
・振込には必ずこの振込用紙を使用してください。
・本票は、出願期間内に願書類に貼付け、高専に提出してください。
・本票に、取扱銀行取納印が無い場合は無効です。



検定料振込金 受 取 書
(兼手数料) (本人保存)

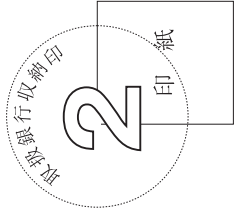
令和	年	月	日
金額	¥	1	6
振込先 銀行	七十七銀行宮城町支店		
受取人	普通	口座番号	5 4 2 8 6 8 8
	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人 (志願者)			
摘要	令和5年度	入学試験検定料	
手数料 (消費税込)			

上記の金額正に
受取りました

(取扱店)

銀行

支店



取扱銀行へ
のお願い

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

銀行切り離し

電信扱

振込依頼書 (取扱店保存)

依頼日	令和	年	月	日					
振込先 銀行	七十七銀行	宮城町支店	金額	¥	1	6	5	0	0
	普通	口座番号	5 4 2 8 6 8 8	手数料					

受取人
独立行政法人
国立高等専門学校機構本部

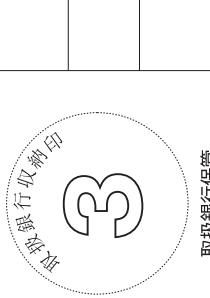
氏名(カナ)

氏名
(漢字)

(住所)〒

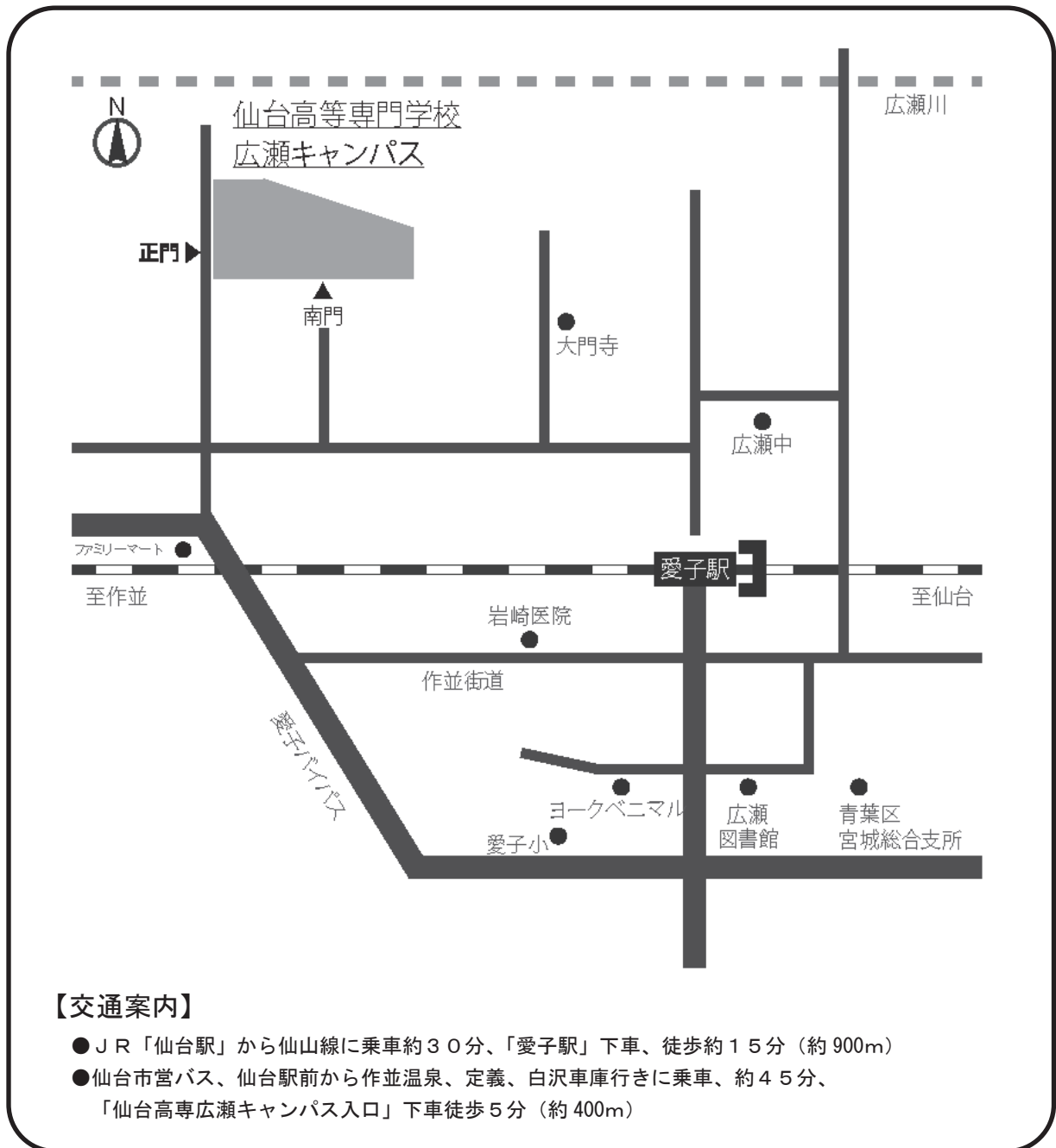
ご依頼人 (志願者)

(電話番号)



取扱銀行保管

仙台高専・広瀬キャンパス案内図



仙台大専・名取キャンパス案内図

